令和３年５月 28 日（金曜日）

日本工業経済新聞

【JCMが定時総会】「新制度をより良いものに」／足立議員へ推薦状も

推薦状を手にする奥野会長（右）と足立議員

全国土木施工管理技士会連合会（JCM、奥野晴彦会長）は26日、都内のアルカディア市ヶ谷で定時総会を開催し、2021年度事業計画などを承認した。また足立敏之参議院議員を招き、来年7月の第26回参議院議員通常選挙の比例代表議員候補者として、自由民主党に推薦することを決め、推薦状を手交した。

総会は昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として、規模を縮小して開催。オンラインでのライブ形式で行った。

開会に当たり、奥野会長は「土木技術者を取り巻く最近の話題としては、監理技術者の専任性の緩和や施工管理技士補の新設があり、この新しい制度をより良いものとしていくことがわれわれに課せられた使命と認識している。現場こそが価値を創造する場であり、そこでの土木施工管理技士の役割は大変大きい」と会の意義を語った。

その後、奥野会長から足立議員へと推薦状が手渡され、足立議員は「18日に内閣府から2020年度の実質GDPが発表されたが、マイナス4・6%とリーマン・ショック時と比べても厳しい状況になった。民間の住宅投資はマイナス7・6%、企業の設備投資はマイナス6・9%と落ち込んでいる。それを公共投資が支えている。コロナの影響下でも公共投資が必要になる。これからも経済対策としての公共投資を働き掛けていく」との考えを強調した。